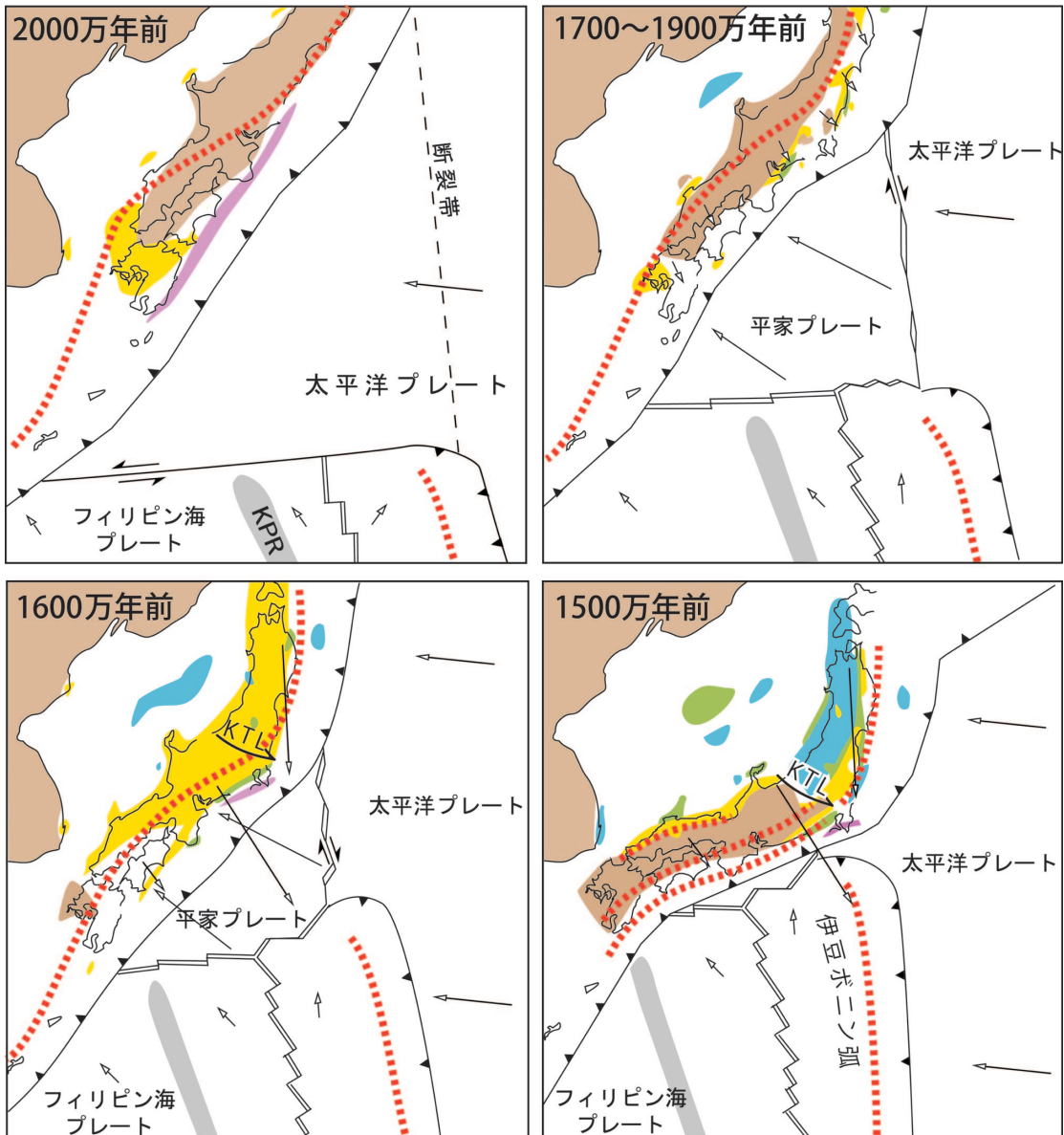


# 日本海拡大時のプレート運動と堆積環境から推定した古地形

＜山路 敦<sup>1)</sup>＞

海洋底の断裂帯は、両側の海洋リソスフェアがその線に沿って固着している場合が多いが、なかには低摩擦で接する断裂帯もある。後者の断裂帯を、左上のパネルで想定している。本州沖の海溝とフィリピン海プレート北縁のトランスフォーム断層で囲まれた領域が、古くて重いスラブのせいでこの断裂帯に沿って太平洋プレート本体から分離して、反時計回り回転しながら本州の下に沈み込んだことを想定したプレートモデル。Yamaji and Yoshida (1998) を一部改変。古地形のデータソースについては、山路・佐藤 (1989), Yamaji and Yoshida (1998) を参照、最近の文献では、松原 (2009) が重要。KPR, 九州パラオ海嶺。KTL, 関東構造線。



1) 京都大学 大学院 理学研究科